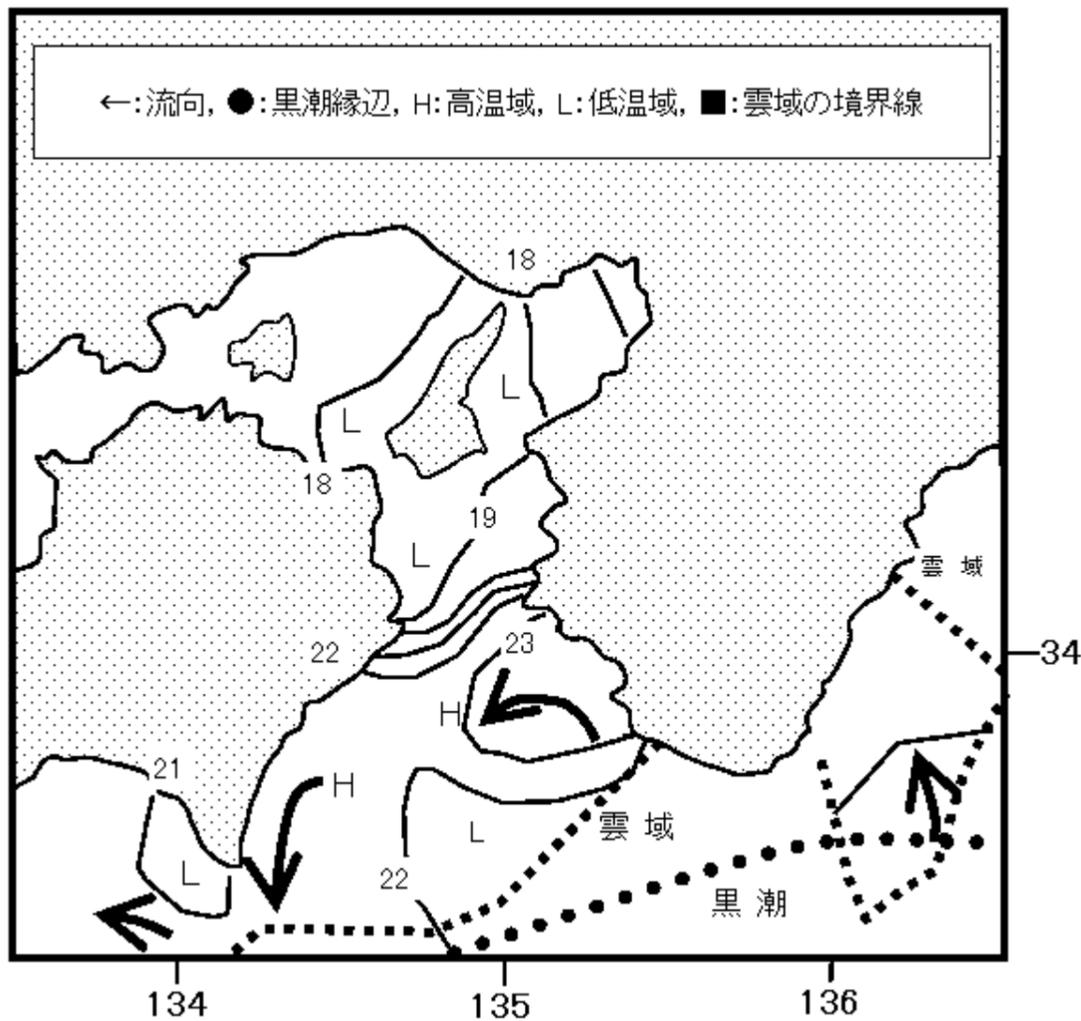


1. 海況の経過

6/1 発行 海上保安庁海洋情報部海洋速報によると黒潮は室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。



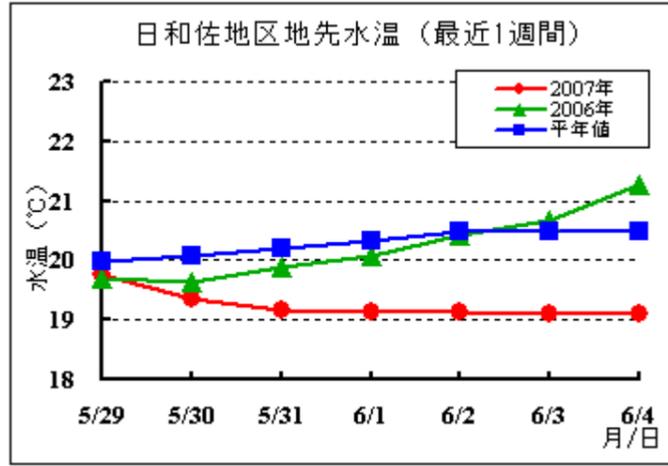
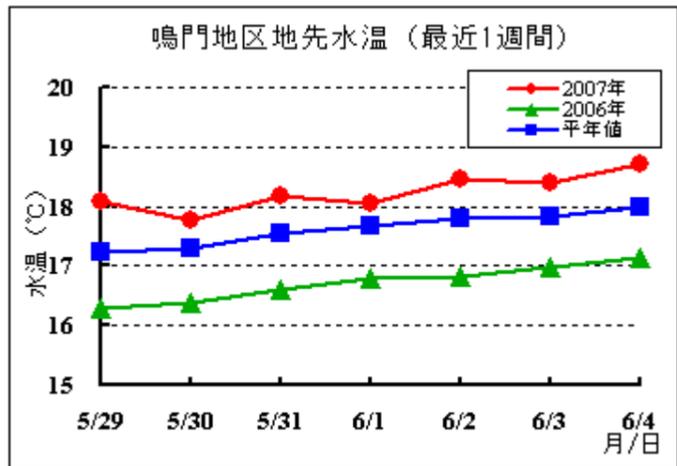
上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.6.3~4)を示した。

表面水温は播磨灘が18~19℃、紀伊水道内部が18~21℃、外域が19~23℃である。紀伊水道内海系水が海部沿岸を南下している。

潮岬沖の黒潮が接岸しているため、和歌山県側から22~23℃台の黒潮系暖水が紀伊水道外域中央部に反時計回りに流入し、海部沿岸まで達している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」~「やや高め」の17.8~18.7℃で、日和佐地区が「低め」~「平年並み」の19.1~19.8℃で、牟岐地区は「低め」~「やや低め」の18.4~19.7℃で推移した。



2. 漁況の経過

徳島県全域に引き続きアカクラゲ、ミズクラゲが大量に発生している。

小型定置網:海部沿岸で、マメ主体にマアジが27.1トン(1日1隻あたり221kg)、マイワシが12.6トン(同301kg)、とびうお類が1.2トン(同17kg)、ウルメイワシが1.1トン(同41kg)、アオリイカが0.5トン(同8kg)、スルメイカが0.5トン(同24kg)水揚げされた。依然マメアジの豊漁が続いている。また、先週に続きマイワシのまとまった漁獲がみられる。

大型定置網:海部沿岸で、特大主体にシイラが3.5トン(同505kg)、大主体にマアジが2.6トン(同371kg)、中主体にマルアジが2.2トン(同313kg)、小主体にスルメイカが2.0トン(同279kg)、大主体にイサキが1.3トン(同187kg)、中主体にゴマサバが1.3トン(同180kg)水揚げされた。その他、例年になくハマフエフキが水揚げされている。

釣り:海部沿岸で、大主体にイサキが0.7トン(同7kg)水揚げされた。カツオ漁は依然低調に推移している。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが5.0トン(同75kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)5月24日～5月30日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マアジ	133	34,550	260	マメ主体
		マイワシ	37	6,643	180	
		ウルメイワシ	29	1,444	50	
		イサキ	6	755	126	大主体
大型定置網	海部沿岸	マアジ	7	1,300	186	特大主体
		メジロ	7	685	98	
釣り	海部沿岸	イサキ	106	705	7	
パッチ網	紀伊水道	シラス	102	19,550	192	

その他県内漁模様(6/4 聞き取り)

モジャコ漁:今年の漁は終了した。サイズは小主体で、漁獲量は平年よりやや少なめであった。

週間予報:

黒潮は室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の19～20℃、日和佐地先で「やや低め」の19～20℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄でカツオが5.8トン(1日1隻あたり12kg)、釣りでイサキが4.6トン(同102kg)、タチウオが1.3トン(同29kg)、パッチ網でシラスが8.6トン(同135kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、メジロが12.2トン、マアジが32.2トン、さば類が6.9トン、マイワシが10.2トン、ウルメイワシが1.5トン、カタクチイワシが2.8トン、マルソウダが151.8トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上